

4 | 重点的に推進すべき公共施設の整備に関する事項

1. 公共施設の整備の状況

1) 基盤施設

①河川

地域の基幹河川である芦田川をはじめ、高屋川、加茂川、有地川、手城川などにおいて河川改修事業が、また、羽原川において高潮対策事業が進められている。

②ダム・砂防等

洪水防御と都市用水確保等を目的とした野間川ダムが建設中である。また、芦田川河口堰貯水池内の水質悪化に対処するため、河口堰の弾力的放流が実施されている。ほかに、山間部主要箇所において砂防ダム等の整備が進められている。

③道路

高規格幹線道路では山陽自動車道が平成5年10月に開通し、瀬戸内しまなみ海道も平成11年5月に供用開始されている。(生口島道路は平成18年4月に暫定2車線で供用開始)また、中国横断自動車道尾道松江線は尾道～三刀屋間が平成15年12月から新直轄方式によって事業が進められている。これらの整備により、当地域は東西南北に開かれた高速交通網を有する「瀬戸内の十字路」となる。

主要幹線道路としては一般国道2号のバイパスとして、赤坂バイパス、松永道路が暫定2車線で供用開始されているほか、福山道路の一部区間や福山西環状線、福山沼隈道路等について事業が進められている。

また、地域の南北を結ぶ幹線道路として、一般国道184号バイパス、地域北部を東西に横断する一般国道486号、地域中央を南北に縦断する府中南北道路、主要地方道鞆松永線等について整備が推進されている。

④鉄道、バス

鉄道は、JR山陽新幹線、JR山陽本線、JR福塩線のほか、井原鉄道井原線が運行している。なお、新幹線は、地域内に福山駅、新尾道駅の2駅を有している。

また、バスは、福山駅、尾道駅、神辺駅をターミナルとし、市街地と内陸部や沿岸部を結ぶ交通手段として重要な役割を担っているが、近年、利用者が減少傾向にあり、路線網の見直しが図られている。

⑤公園等

地域の都市公園開設面積は、3.32km²(平成17年度末)、都市計画区域内一人当たり5.39m²で、県平均7.03m²/人を下回っている。街区公園などの小規模な公園は概ね整備を終えているが、地区公園や総合公園などの大きい公園は不足している状況である。

⑥駐車場

福山市の福山駅周辺部では、日曜、祝日には駐車場が飽和状態となり、駐車場待ちの車両が交通混雑を起こす状態がみられる。

⑦下水道

地域の下水道整備については、平成18年度末の人口普及率が48.1%であり、全国平均の70.5%、県平均の65.2%と比較すると低い水準である。

⑧廃棄物処理施設

福山市及び府中市では、広島県が進める循環型拠点構想「びんごエコタウン構想」に沿って、一般廃棄物のRDF化処理等に取り組んでいる。

一般廃棄物処理施設については、引き続き、計画的整備について検討していく必要がある。

⑨通信

インターネットなどの情報通信技術を活用することで、行政サービスや行政情報が提供できる手段として、市役所・公共施設などを結ぶ情報通信ネットワークを整備している。

⑩港湾・海岸保全

福山港、尾道糸崎港の2港が地域の重要港湾として機能しており、福山港においては、国際コンテナターミナルの整備が進められている。その2港を補完するものとして千年港、阿伏兎港、横田港等がある。

本地域の海岸は大部分が人工海岸であり、自然海岸は島しょ部を中心に一部残されているだけである。

⑪その他都市基盤整備

JR福山駅周辺地区において、土地利用が低密な街区が形成されており、市街地再開発事業による基盤整備が必要とされている。また、JR府中駅周辺地区において、市街地の面的な都市整備の遅れがみられ、基盤整備が必要である。

2) 学術・文化・教養施設, スポーツ・レクリエーション施設

①学術・文化・教養施設

地域には学術・文化・教養施設として福山市に私立福山大学, 私立福山平成大学, 福山市立女子短期大学, 国立福山職業訓練短期大学校, 尾道市に尾道市立尾道大学がある。

また, 広島県立歴史博物館, 広島県民文化センターふくやま, ふくやま美術館, 福山城博物館, ふくやま芸術文化ホール(リーデンローズ), 鞆の浦歴史民族資料館, 尾道市立美術館, 尾道市文学記念室, 府中市こどもの国(POM)等がある。

②スポーツ・レクリエーション施設

地域のスポーツ・レクリエーション施設としては, 福山市にはローズアリーナ, 陸上競技場や野球場を持つ竹ヶ端運動公園, 芦田川漕艇場, 山野峡キャンプ場, みろくの里, クレセントビーチ等があり, 尾道市の広島県立びんご運動公園, みつぎグリーンランド, 野球場やテニスコートを備えた府中市の上下運動公園, 河佐峡, 羽高湖サンスポーツランド等多様な施設がある。

観光面では, 福山市の福山城周辺や鞆の浦周辺, 尾道市の千光寺公園とその周辺など知名度の高い地区を有する。

2. 公共施設の整備の方針

1) 基盤施設

当地域の基盤となる公共施設の整備については、高規格幹線道路や空港アクセスなどの高速交通ネットワークを整備するとともに、各拠点地区及び周辺地域を有機的に連携する道路網、鉄道、港湾などの交通関連施設や、安全で快適な生活環境を形成するための治山・河川・砂防事業、下水道、公園などの整備を重点的に推進する。

①河川

豊かな生活基盤の拡充のため、芦田川等において治水安全度を確保するとともに、河川環境管理基本計画に基づいた河川景観及び生態系等に配慮した改修事業や水質浄化事業を促進する。また、沿岸部の高潮浸水被害を防止するため、高潮対策事業を実施する。

具体的には、手城川での河川改修事業や雨水貯留事業等を合わせた総合的な治水対策、うるおいのある親水空間づくり、羽原川での高潮対策事業等を推進する。

②ダム・砂防等

洪水防御と都市用水等を確保するための野間川ダムの建設や、芦田川河口堰の弾力的放流による水質保全を推進するとともに地域面積の約50%を占める山間、丘陵地では土砂災害から人命、財産を守るため、砂防ダムを重点とする砂防対策、地すべり対策、急傾斜地崩壊対策を推進する。

③道路

拠点地区の整備とその波及効果によって地域や周辺地域を活性化させ、快適で豊かな住環境を実現するため、地域の骨格となる道路網について重点的な整備を推進する。

特に、瀬戸内の十字路としての立地性を最大限に活かすべく、山陽自動車道や瀬戸内しまなみ海道、中国横断自動車道尾道松江線等の高規格幹線道路と一体となって高速交通体系の役割を果たし、地域構造を強化する地域高規格道路等の整備を推進する。

また、これと合わせて、交流促進型の広域道路等の整備も進め、都市と農山漁村の連携を強化し、各拠点地区における機能整備の効果の増進と当地域の一体的な発展を推進する。

なお、整備に当たっては、交通機能だけでなく、景観に留意し、緑化の推進や、歩行者環境にも配慮することが必要である。

④鉄道、バス

交通結節点における鉄道やバスの連絡性を強化し、公共交通の利用促進を図る。さらに、利便性向上を図るために鉄道各駅におけるバリアフリー化を促進する。

特に、バス交通については、今後の高齢社会における重要な移動手段として路線の維持、確保が求められており、採算性の低い路線についてはゾーンバスシステム等を導入するなど、地域全体でのバランスのとれた効率的な公共交通ネットワークの形成を図る。

⑤公園等

都市環境の改善、災害時の安全確保、活力ある地域社会の形成等に寄与するとともに、多様化するスポーツや文化等の需要に応えられる施設を整備し、地域の定住環境を向上させる。

特に広域的サービス性や人口集中地区での避難施設としての機能を重視し、総合公園や運動公園、特殊公園などの整備を推進するとともに、拠点地区の拠点性を高める広域的施設と一体となった公園等を整備する。

⑥駐車場

福山駅周辺地区における駐車需要に対応するため、福山駅北口広場の改修に合わせて駐車場を整備するとともに、附置義務制度等の活用により駐車施設の充実を図る。

⑦下水道

生活環境の改善、市街地の浸水防除、公共用水域の水質保全等を図るため、下水道整備を計画的に推進する。

各市の地形条件、規模に合わせ、流域下水道、公共下水道、特定環境保全公共下水道の整備を計画的に推進する。また、下水道の整備が見込まれない区域及び下水道整備に相当の期間を要する区域ではコミュニティプラント、合併処理浄化槽の設置を促進する。

⑧廃棄物処理施設

社会的背景の変化の中で産業、生活両面から排出される廃棄物は、量の増大、質の多様化のため、今後、一層深刻化すると予想される。また、島しょ部地域では土地が狭いことなどで、地域内での廃棄物処理施設の建設が困難となる。こうした問題に対処するため地域内各地が連携して広域処理を推進する。

さらに、一般廃棄物処理施設整備については、長期的視点に立ち、継続して検討していくとともに、併せて、環境に対する負荷を可能な限り抑えるという観点から、廃棄物の再資源化によるゴミの減量化やエネルギー回収などを積極的に推進する。

⑨通信

インターネットなどの情報技術を活用し、行政サービスや行政情報を提供するための手段として、市役所や公共施設などを結ぶ情報通信ネットワークの整備を引き続き進めていく。

⑩港湾

経済のグローバル化の進展や船舶技術の発展に伴い、大量・高速輸送の担い手として海上交通が注目されている。こうした動きに対応し、港湾の物流処理能力を向上するため、福山港、尾道系崎港など重要な役割を担う港湾の機能拡充を図る。福山港については、県東部地域のアジアゲートとしての機能強化を目指して、国際コンテナターミナルの整備や港湾へのアクセス道路の整備を推進する。尾道系崎港については、国内有数の木材輸入港として外内貿埠頭の整備を推進する。

また、アメニティを提供するウォーターフロントとしての港湾空間が注目されており、楽しく快適に過ごせる美しい港湾にしていくための港湾機能の整備を進めるとともに自然環境と保全に留意し、国土保全と災害防止のため、海岸保全施設の整備推進を図る。

⑪その他都市基盤整備

地域の中核を担う重要な拠点地区として位置付けられている福山駅周辺地区においては、駅前広場をはじめとする交通環境の整備を推進するとともに、東桜町地区や伏見地区において計画されている市街地再開発事業等を促進し、交通、商業、業務、交流機能等の向上を図る。

また、認定中心市街地活性化基本計画に位置づけられている府中駅周辺地区においては、JR福塩線により南北が分断されていることから、南北自由通路の整備、南口の駅前広場の整備等により南北市街地の一体化を図るとともに、統合小中学校の開校に伴う周辺道路の改良、古いまちなみや歴史的資源などを活かした市街地の回遊性を向上させることにより、中心市街地のにぎわい創出と安心して歩いて暮らすことのできるコンパクトなまちづくりを目指す。

2) 学術・文化・教養施設, スポーツ・レクリエーション施設

定住を促進し, 住民の教養文化活動のニーズに対応して新たな地域文化を創出していくためには, 「職・住」の充実に加え, 「遊・学」を多様でうおいのある知的なものとして創造・強化していく必要がある。

そのため, 地域内の各市が持っている自然, 文化, 歴史, 人材などの資源を十分に活用するとともに, 特色ある学術・文化・教養施設, スポーツ・レクリエーション施設の機能分担とネットワークを図りながら, 人的交流, 地域間交流などのソフト事業を展開する。

①学術・文化・教養施設

教養・人材育成では, 地域社会に貢献できる人材, 経済のグローバル化に対応する人材の育成を推進するため, 私立福山平成大学, 私立福山大学, 尾道市立尾道大学等既存の高等教育機関の充実を図るとともに, 福山市立女子短期大学の4年制大学への移行に伴う市立大学の設置を推進する。

文化・教養関係では, ふくやま芸術文化ホール(リーデンローズ), 広島県立歴史博物館, 広島県民文化ホールふくやまをはじめ尾道市立美術館, しまなみ交流館(テアトロシェルネ), 府中市のこどもの国(POM)等各施設を有効に活用するとともに, これらの施設の連携に努める。

観光面では, 鞆の浦や千光寺公園等によるマリン広域観光ルートの形成や, 各種観光基盤整備の整備を行うとともに, 各市の歴史的町並みの保存・継承等を推進し, 文化性・歴史性を高めていく。

②スポーツ・レクリエーション施設

地域住民の多様な余暇活動に対応する憩いの場, 健康づくりの場を提供し, 地域住民の交流を活性化するため, 福山市の緑町公園屋内競技場(ローズアリーナ), 福山市竹ヶ端運動公園, 尾道市の広島県立びんご運動公園, 府中市立総合体育館(ウッドアリーナ)など全国大会に対応できる広域的スポーツ施設の活用を推進するとともに, 海・山を活用した海浜・森林公園, キャンプ場などの野外活動施設, 宿泊研修施設などの利用促進を図る。